

柴田重孝

SHIBATA Shigetaka (1917~2013)

大正6年(1917)福岡県早良郡田隈村で出生，平成25年(2013)8月16日，東京都小平市で肺炎のため死去，享年96歳。獣医師，獣医微生物学者。昭和36年(1961)東京大学から「日本で分離されたブルセラ菌の型別に関する研究」で農学博士の学位を授与。昭和62年勲3等瑞宝章を受章。



【学歴】昭和16年東京帝国大学農学部獣医学科を卒業。

【経歴】昭和16年農林省獣疫調査所嘱託 牛の結核病の研究およびツベルクリン製造に関する事項を担当。17年入営，満州へ転属，陸軍獣医幹部候補生，台湾軍に編入，20年陸軍獣医少尉，21年復員，4年間を軍務に服す。

昭和23年家畜衛生試験場に復帰，血清類製造及び改良研究を担当，25年第一部細菌課(小平分室)勤務，27年調査第一部細菌第2室長，28年4月北海道支場事業主任，30年製造部細菌製剤室，同年調査第一部細菌第1室長，32年FAO/WHOブルセローシス・センターの運営，39年同第一部長，46年家畜衛生試験場長，50年第10期学術会議，54年退官。同年麻布大学教授，環境保健学部，免疫化学講座を担当。56年同学部長，62年同大学退職，名誉教授。55年生物科学安全研究所理事を併任，58年理事長，62年退任。

【業績】昭和28年に北海道支場で馬の流産菌症と乳牛の繁殖障害起因疾病を細菌学的に調査した。昭和28年より北海道，東北，山梨，長野，岡山，九州の各地で戦後酪農の復興のために輸入され検疫時に潜伏感染期であった乳牛にブルセラ病が多発した。昭和30年には細菌第1研究室長として発生に対応していたが，同年にブルセラ病の国内の医学，獣医学の両面から調査する委員会(越智勇一委員長)の設置を機に，本病の調査・研究を発展させた。昭和32年(1957)，FAO/WHOブルセローシス・センターを設置し，アジアのブルセラ病センターとして国内外の活動基盤を強化し，インドネシアや台湾のブルセラ病対策に貢献するとともに，FAO/WHO Brucellosis CenterからEnglish Summaries of the STUDIES ON BRUCELLOSIS IN JAPAN(Selected Articles)1958として刊行し，国内外の関係機関に贈呈した。

伊佐山康郎らの血清学的研究や田中正三ら大量培養の成果をもとに，国内の乳牛の例年全頭の検査・淘汰によるブルセラ病の清浄化への道を開いた。牛由来菌

以外に人由来菌や犬由来菌の研究も行い、無菌室施設の改善などのバイオハザード対策・研究を推進した。英国のブルセラ標準血清の力価を基準として、日本のブルセラ標準血清を多数作成した。

豚の流行性肺炎の原因菌のMycoplasma調査・研究を進め、その清浄化対策として39年同第一部長時代に豚集団変換計画の方法SPF(Specific pathogen free)豚の開発・研究を開始した。

46年家畜衛生試験場長として、将来の研究発展を見据えて家畜衛生試験場のつくば移転計画を作成し、農林試験場所と共同で建設計画を企画・推進した。

54年退官、同年麻布大学教授として環境保健学部へ赴任し、新設学部の充実に努め、学部長として教員の研鑽と、人と自然環境の調和を図る環境科学、医臨床検査学の教育と研究の充実に尽した。

生物科学安全研究所では55年理事、58年には理事長、62年に退任するまで、人の安全性と農産物や畜産物の生産性向上のために現場の対応・調整に当たった。

家畜衛生試験場退官後、笹原二郎先生と共に家畜衛生試験場退官者のために三多摩OB会を組織し、親睦の場を設けた。現在も国分寺駅ビル内の会場で毎年OB会の集いが続けられ、つくば市観音台の動物衛生研究所の動衛研同窓会と連携した会が保たれている。

各地の銘酒と各時代の歌を楽しまれ、ご家族を大事にし、石楠花を愛された。

【著書】家畜微生物学 外5編。石南亭随記 77頁(平成24年5月17日)を残された。

原文：伊佐山康郎 (ISAYAMA Yasuo)

補筆：佐藤 国雄 (SATOU Kunio)

鳥 潟 勲

TORIKATA Isao (1912~1972)

明治45年(1912)2月27日東京府荏原郡入新井町大字新井宿字源蔵原2801番地(現・東京都大田区山王町)にて父、正四位勲二等 工学博士 鳥潟右一、母、九梅の次男として生まれ、昭和47年(1972)9月26日脳溢血で死去。享年60歳。開業獣医師。

【学歴】大正12年(1923)開成中学校入学、大正14年同中退。昭和5年東京獣医学校中等部(世田谷区下馬)

入学、昭和8年3月同卒業、獣医師資格獲得。昭和8年4月東京高等獣医学校へ進学。昭和10年4月1年休学、静岡県森永乳業三島工場に就職。昭和11年4月東

